

重層的支援体制整備事業について

3 相談支援機関へのヒアリング調査（複合的な課題・狭間問題の支援事例）

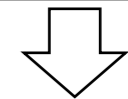
地域包括支援センター（13事業所、103事例）及び障がい者生活支援センター（5事業所、20事例）に対して量的・質的な調査を実施（令和3年10月）。

過去1年間の支援事例（複数回答あり）

課題	分野	地域包括支援センター	障がい者生活支援センター
虐待・DV等		54件	9件
精神疾患		45件	7件
認知症		41件	1件
8050問題		29件	3件
引きこもり		22件	3件
経済的困窮		20件	10件
ごみ屋敷		16件	5件
多重債務		5件	4件
その他		75件	20件
合計		307件	62件

【課題】

- (1) 複合的な生活課題
- (2) 深刻化する社会的孤立
- (3) 家族やコミュニティの希薄化



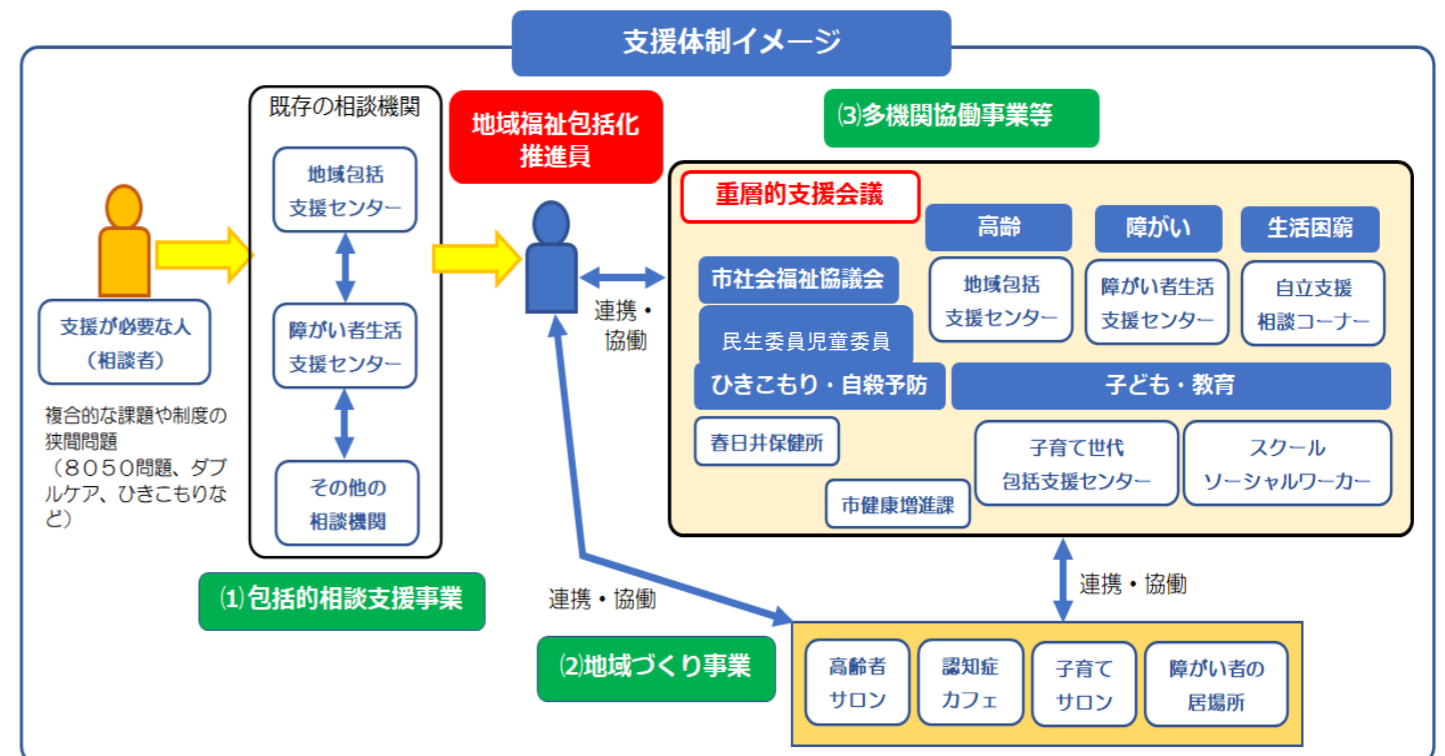
【解決策】

- (1) 包括的な相談支援体制の構築
(包括的相談支援、多機関協働)
- (2) 社会とのつながりの再構築
(参加支援、アウトリーチによる継続的支援)
- (3) 住民主体の地域課題解決体制の構築
(地域づくりの支援)

【連携する際の課題】

情報共有や役割分担、個人情報の取扱い等。

4 重層的支援体制整備事業の全体図 ～世代や分野を超えた包括的な支援体制～



重層的支援会議
(随時開催)

複合的な課題のある世帯の情報共有やケース検討、関係機関との役割分担・連携

1 地域の現状と課題

(1) 高齢者虐待通報件数の増加 27件（2009年）→192件（2020年）10年間で7倍に虐待の発生要因の4割が複合的な課題（経済的・孤立・障害等）

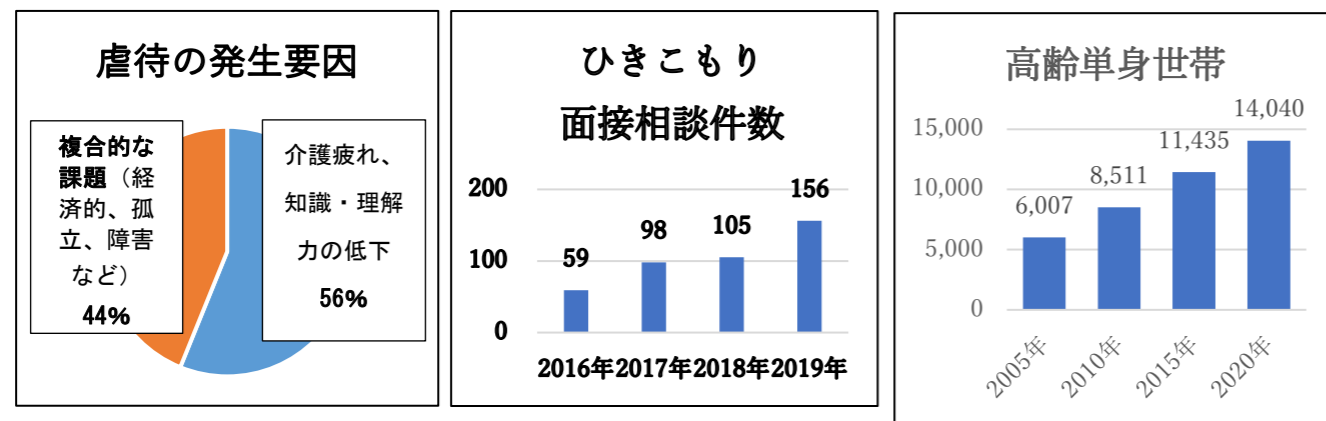
複合的な生活課題

(2) ひきこもり面接相談件数の増加（3年間で2.6倍に）
孤立死の急増 34件（2020年）→94件見込み（2021年）前年比2.8倍

深刻化する社会的孤立

(3) 単身高齢者の増加（20年で2.3倍）、
町内会の加入率の低下 76.0%（2000年）→58.5%（2020年）

家族やコミュニティの希薄化



※ひきこもり面接相談は春日井保健所（春日井市、小牧市）

2 これまでの取組

(1) 相談支援体制

- 平成18年 地域包括支援センター運営事業の開始
- 平成19年 相談支援事業（障がい者生活支援センター）の開始
- 平成27年 自立支援相談コーナーの設置
子育て世代包括支援センターの設置
- 平成28年 生活支援コーディネーターの配置

(2) 地域支援研究会

- 令和2年11月に設置（8機関7課） 10回開催
- 研究会で研修プログラムを開発
- 専門職合同研修会（2日間）を実施
- 重層的支援体制整備に向けた人材育成のあり方検討